

## 役員会社紹介

## 医療法人社団成澤会 清水橋クリニック



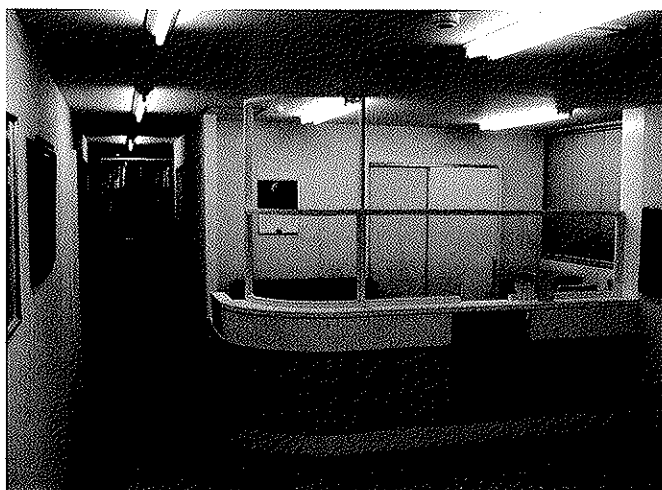
成澤 隆 院長

港南区工業会のみなさま、初めまして。私は医療法人社団成澤会清水橋クリニックの院長の成澤隆と申します。前職より平成4年に清水橋クリニック所長を引き継ぎ、平成17年10月に医療法人社団となりました。また、平成18年2月2日に保険診療を開始するべく準備をし、内科・循環器科として開業することになりました。

清水橋クリニックは、昭和54年4月に前身の神奈川集団検診センター厚生クリニックとして港南区でスタートしました。当時は高石医師が所長を務めており、私はまだ17歳、高校3年生でした。主な業務は、レントゲン車を利用した職場の健康診断でありましたが、昭和60年、清水橋に移転し、エックス線装置を装備した清水橋クリニックとして再スタートを切りました。その後、地元の皆様のご助力により徐々に知られるようになって、レントゲン車も2台になって手狭になったこともあり、平成14年に現在の日野中央1丁目に移ってきました。ここでは、受診者の方をお呼びして健診を受けていただけるようにもなりました。このあたりは日野公園墓地や日野中央公園があり、緑も多く非常に環境がよいという場所です。しかし、まわりにはあまり医療機関がなく、当クリニックは保険診療を行っていなかったため、知らずに来てくだ

さった方々をお断りしなくてはなりませんでした。そこで、平成17年10月に医療法人とし、平成18年2月2日より標榜科目が内科・循環器科の保険診療開始となったわけです。

私は、昭和大学を昭和63年に卒業し、昭和大学外科学教室に入局しました。外科を中心に研修を行い、心臓血管外科医として大学に奉職していました。専門は心臓血管外科という心臓や血管の手術をする科で、夜中に心筋梗塞や動脈瘤破裂で運び込まれた患者さんを緊急で手術をするようなこともたびたびありました。私が医者になりたてのころは、60歳を過ぎていて、「もう年だから」という風潮でしたが、最近では70歳を過ぎてもまだまだ若い、80歳を過ぎても元気な方には手術療法も考慮にいった治療方針をたてるのは当たり前という時代になっています。こんな時代にあって、PPKという言葉時々耳にすることがあります。これはピンピンコロリの略語だそうです。日頃から元気に過ごすために運動やストレス発散をしていただき、時には健康診断でチェックをし、ちょっと具合が悪くなったらお助けするということで地域の皆様の健康管理ができればいいなと思っています。



▲クリニック内